

管理所レビュー VOL.05

(R 5. 6. 22 水源林管理所)

令和5年度の第5回ボランティア活動が、6月9日(金)に予定どおり実施されました。

数日前から活動日は大雨予報となっていたので、心配していましたが、朝には雨が上がるとの予報に好転したため、予定どおりの実施決定となりました。

しかし、道志村では前日の夜から朝まで30mmを超える雨が降ったため、安全を考慮して間伐作業は行わず、杭作りと動滑車のセッティング講習を行いました。

「杭作りは随分と久しぶりだなあ」との声もありましたので、気になって調べたところ、実にコロナ前の令和元年6月22日以来の杭作りでした!! また、動滑車のセッティングを現場で実践できるよう、実際にロープを張って一人一人繰り返し練習を行いました。

それでは、安全活動のための水源林管理所の振返りなどをお知らせします。

1 活動日の様子



到着時はまだ雲が低い。



斜め切りは大変ですね。



先端を四角く残します。



疲れたら交代してね!



色々な切り方がありますね。



両端から切る方法。



しゃがんで切る方法。



木を斜めにして切る方法。



19本の見事な杭ができました。



まずはセッティングのレクチャー。



ロープを張って、いざ実践!



繰り返し何度も練習!

2 ご参加、ありがとうございました！

今回の活動に、環境保全活動に積極的に取り組んでいるメタウォーターサービス株式会社様と宮本土木株式会社様からそれぞれ2名が参加されました。

横浜の水源である道志村の民有林をより良い水源林とするこの活動が、環境貢献活動に積極的に取り組まれている企業、団体様などの参加により、ますます広がることを期待します。

道志水源林ボランティアの会の皆さん、ご協力ありがとうございました。



メタウォーターサービス株式会社様
(掲載許可済み)



宮本土木株式会社様
(掲載許可済み)

3 ヤマビル・マダニに注意！

林業・木材製造業労働災害防止協会発行の林材安全令和5年度6月号の特集にヤマビル・マダニの記事が掲載されていましたので、抜粋して紹介いたします。

皆さんが山林での作業中に危険や不快を感じる野性生物と言えば、スズメバチやマムシが思い浮んでくると思いますが、それらは不用意に刺激しなければ急に襲ってくる事は少ないです。

一方、ヤマビルやマダニは、音もなく人に忍び寄り、いつの間にか人の血を吸っています。吸血後の出血や見た目の悪さから不気味な吸血動物として認識が強いと思います。

①ヤマビル

ヤマビルは、口吸盤の奥にある顎と歯を使ってヒトを含む哺乳類や両生類に咬みつき、1時間ほど吸血します。吸血時には、唾液腺から麻酔成分や血液の凝固阻止作用をもつ化学物質を出すため、咬まれたことに気づかず、吸血された後もなかなか血が止まりません。

②マダニ

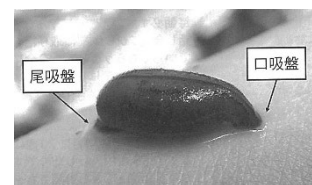
マダニは、体の先端にある逆向きのトゲのような多くの歯を宿主動物の皮膚に深く差し込み、セメント物質を出して固定した後、数日から数週間もの間吸血します。吸血時には、ヤマビル同様唾液腺から麻酔成分や血液の凝固阻止作用をもつ化学物質を宿主動物に注入します。

また、マダニは病原体の保有動物から病原体を取り込んだ後、人を吸血することによって感染症を発症させることがあります。それがマダニ媒介感染症と言われるもので、中でも「重症熱性血小板減少症候群」(SFTS)は、高齢者で重篤化することが多い病気とされていますので、注意が必要です。マダニ媒介感染症は、刺されてから概ね1～2週間発熱などの症状がみられるので、体調に異常がみられたら早めの受診をお願いします。

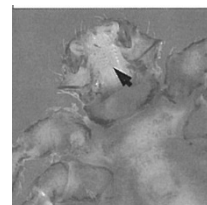
③吸血被害対策

ヤマビルやマダニの被害を防ぐ一番の対策が刺されないことです。特にSFTSの予防には利用可能なワクチンがないため、マダニに刺されない事が重要です。対策の一例として

- ・長ズボンの裾を靴下の中に入れる。
- ・地面に腰を下ろす際は、シートなどを敷いて直接地面に座らない。
- ・ヤマビルには専用の忌避剤、マダニには虫よけスプレーを足元に。
- ・作業着にヤマビル・マダニの付着がないか確認する。



吸血中のヤマビル



マダニの頭部(矢印が歯)



(被害を防ぐための服装例)

※現在の活動地では、ヤマビル被害の報告はありません。また、山梨県内でマダニ感染症の報告はありませんが、全国的に生息範囲が広がっていますので、対策をお願いします。

※ 6月24日(土)は、曇り、最高気温24度、降水確率40%の予報です。

★それでは6月24日(土)、気をつけてお越しくください。